

みずほCustomer Desk Report 2022/08/29 号 (As of 2022/08/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	136.76 AUD/USD
TKY 9:00AM	136.55	0.9971	136.15	1.1825	0.6963
SYD-NY High	137.75	1.0090	137.94	1.1900	0.7009
SYD-NY Low	136.19	0.9947	136.15	1.1730	0.6889
NY 5:00 PM	137.67	0.9965	137.05	1.1730	0.6892

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,283.40	▲ 1,008.38	日本2年債	▲0.0900%	0.0000%
NASDAQ	12,141.71	▲ 497.56	日本10年債	0.2200%	▲0.0100%
S&P	4,057.66	▲ 141.46	米国2年債	3.3804%	0.0071%
日経平均	28,641.38	162.37	米国5年債	3.1889%	0.0315%
TOPIX	1,979.59	2.99	米国10年債	3.0279%	▲0.0026%
シカゴ日経先物	28,225.00	▲ 465.00	独10年債	1.3940%	0.0675%
ロンドンFT	7,427.31	▲ 52.43	英10年債	2.6005%	▲0.0135%
DAX	12,971.47	▲ 300.49	豪10年債	3.5930%	▲0.1200%
ハンセン指数	20,170.04	201.66	USDJPY 1M Vol	11.65%	▲0.37%
上海総合	3,236.22	▲ 10.03	USDJPY 3M Vol	11.06%	▲0.34%
NY金	1,749.80	▲ 21.60	USDJPY 6M Vol	10.72%	▲0.27%
WTI	93.06	0.54	USDJPY 1M 25RR	▲0.16%	Yen Call Over
CRB指数	299.09	2.35	EURJPY 3M Vol	11.72%	▲0.27%
ドルインデックス	108.80	0.33	EURJPY 6M Vol	11.67%	▲0.20%

東京	東京時間のドル円は136.55レベルでオープン。NY時間のジャクソンホールでのパウエルFRB議長の講演を控え、米長期の上昇を背景にじり高の展開となり、137円ちょうど手前まで上昇し136.93レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、136.93レベルでオープン。ジャクソンホール待ちで137円を挟んだ方向感のない推移に終始。朝方137.11まで上昇するもその後はじりじりと136.82まで下げるがそこから反転。結局136.97レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリール 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	136.97レベルでNYオープン。朝方はFRBが重要なインフラ指標として注視しているとされている米7月PCEコアデフレーターが予想を下回り、ドル売りで反応したことから136.45まで反落。10時に開催されたパウエルFRB議長のスピーチでは「早急すぎる緩和のリスクは歴史が警告している」、「景気抑制の政策は一定期間必要になりそうだ」などの発言が効率的なメッセージと伝わったためか、買いで反応し137円台半ばまで上昇。一方、「9月の利上げ幅はデータ次第」とも述べていたことや、同時にミシガン大学が発表した消費者マインド指数の上振れ、期待インフラ率の下振れであり、すぐに売られ、136.19まで反落。その後も荒い値動きが続くが、午後に入り米金利の底堅さ確認されるとドル円も買い優勢となる。終盤は特段手掛かり材料は見当たらなかったが、買い優勢の流れが止まらず、137.75まで上昇し、137.67レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは0.99台後半で動意乏しく推移し、0.9997レベルでNYオープン。朝方の米経済指標でバティ回復後、更に一部報道で「複数のECB当局者が75bpの利上げについての議論を希望」と伝わったことがユーロ買いを誘い、1.0090まで急伸。しかし、買いは長続きせず、その後は0.9960近辺まで戻す。午後は安値圏で上値重く推移し、0.9965レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 逸見・木村

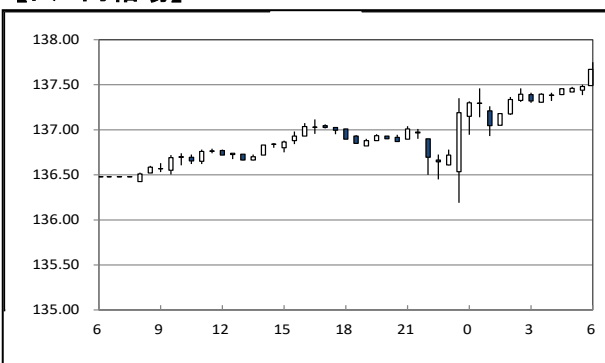
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月26日	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	7月 0.8%	1.4%
	21:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	7月 -0.1%/6.3%	0%/6.4%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	8月 58.2	55.5
	23:00	米 ジャクソンホール パウエルFRB議長 講演	-	「景気抑制的なスタンスを維持する可能性が高い」

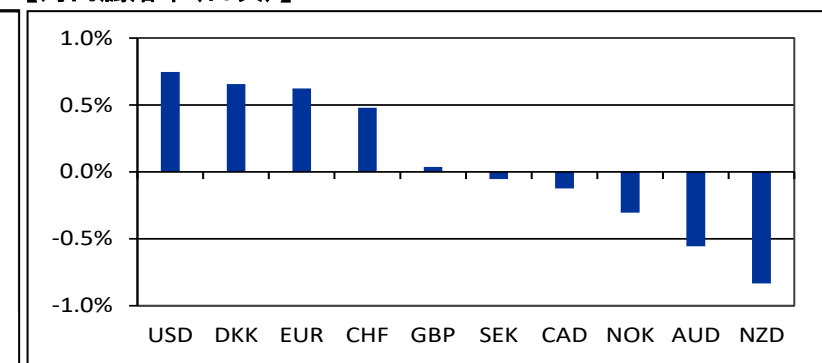
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	137.00-138.60	0.9900-1.0050	136.50-138.00

【マーケットインプレッション】

先週末のドル円は上昇。アジア時間については、136円台半ば付近で取引を開始し、米国時間に控えるジャクソンホールもあり、レンジ内での小動きに終始。海外時間に入り、発表された米経済指標が一部市場予想を下回ったことで、局所的にドル売り圧力が強まるも、パウエル議長講演にて、長期における金融引き締め策の必要性や早期の金融緩和への転換に警戒感を示したことで、ドル買い圧力に転じ、その後のじりじりと上昇。結局137台後半にてクローズ。本日のドル円は底堅い展開を想定。注目されたジャクソンホールでのパウエル議長のタカ派発言もあり、ドル円の上昇圧力は今しばらく継続する見通し。一方、今週末に控える米雇用統計が来月開催のFOMCにおける利上げ見通しに与える影響も勘案すれば、様子見姿勢も根強く、方向感に乏しい展開となる可能性も。